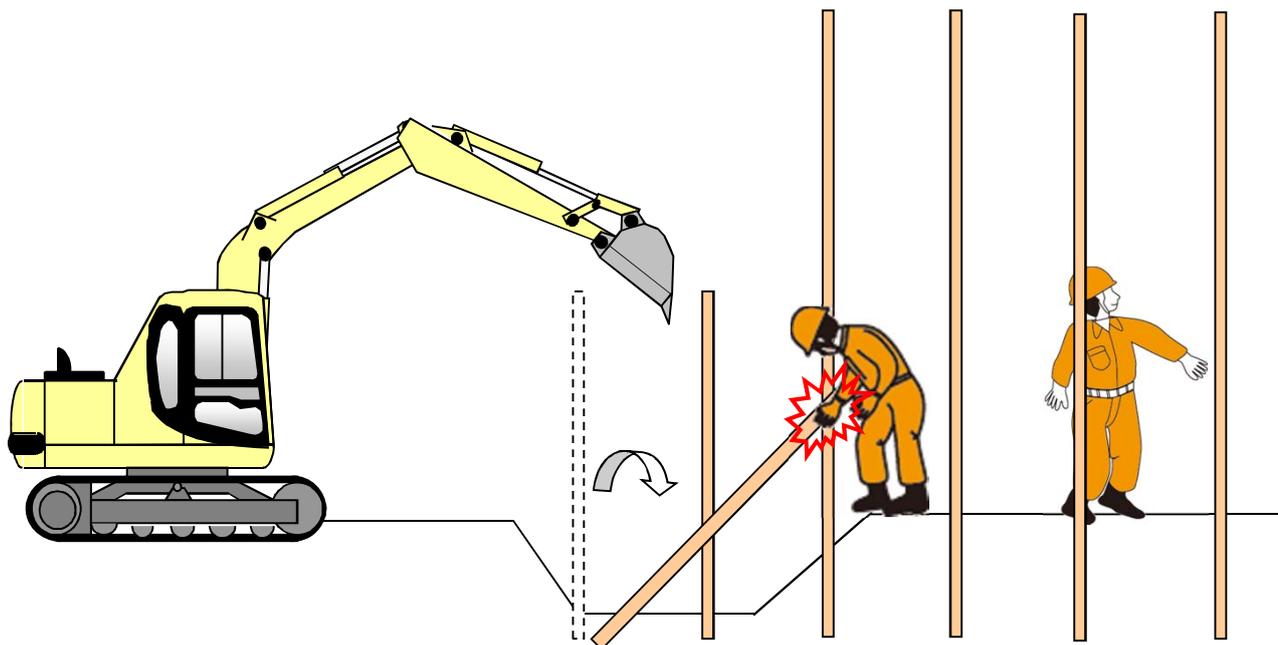


『トンネル内、支保工解体中接触し挟まれ負傷』

発 生 年 月	平成 年1月
時 刻	13:30 頃
被 災 者	坑夫(44歳)
傷病名・部位	右手首骨折、右肘裂傷（休業1日）

- ◎ 発生状況
1. トンネル工事において、下半捨枠(200H)を解体するため、根掘り終了後にバックホウのバケットで手前の支保工を倒した。
 2. 支保工根脚部のタイロットがつながっていたため、切羽側の支保工を支点として、支保工が切羽側に回転した。
 3. その際、ガス切断準備をしていた被災者は、回転してきた手前の支保工と下半吹付コンクリートとの間に挟まれ、負傷した。

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・重機機械の作業半径内におり、解体材の影響範囲内に立ち入ったこと。
- ・KY活動を通じて、予めリスクの洗い出しを行い、危険を予測し対策をとること。